

2012-2013年度 秋の上級ライラ報告

青少年活動委員会 委員長
植田 昌克 (大阪北RC)

秋のライラは、これまで初級ライラと上級ライラを同時に開催してきましたが、今年度から上級のみとなりました。上級ライラは初級ライラ修了者が対象となるため、受講生が少なく規模は小さくなりますが、初回であり、次年度以降の運営の下地を築くこともあって、今年度は地区青少年活動委員会がホストを務めました。チームライラの皆さんに全面的にご協力いただき、ライラの目的であるところの指導者としての資質を伸ばすプログラムを立案しました。

「心の中を見つめて、自分の未来像を探求しよう!」をテーマに掲げ、10月6日から8日まで六甲山YMCAで2泊3日のプログラムを実施しました。参加した受講生は11名。阪急六甲駅に集合してマイクロバスでYMCAに到着した受講生の表情は、不安と期待で一杯でした。

秋晴れの六甲山で、高島Gのご挨拶を頂いて秋の上級ライラが開講しました。基調講演では、財団法人シーセフの藤岡俊雄様が、「国境なき教師団」～太陽の国の未来へ～というテーマで、教育支援によってカンボジアを救う活動を自ら献身的にされている講演をされました。

講演の後は全員で夕食のカレー作り。夕食後のアイスブレーキングで、全員が打ち解けました。1日目はテント泊で、開講式前に各々がテントを設営しました。夜になってあいにく雨が降り始め、降雨の中でのテント泊となりましたが、静まり返った山林の中で、テントを打つ雨音を聞きながら自分を見つめることができたようで、受講生にとって貴重な経験となったようです。



2日目は、「チェンジザドリーム」によって環境や世界平和について研修し、3日目は、N2法を用いて理想のリーダーについて研修しました。朝の集いでは野外でプログラムを行い、夜は火を囲んでロータリアンも加わって班ごとに語り合いました。話が進まないのではと心配していましたが、思いのほか積極的に意見交換ができ、受講生に好評でした。

3日目の午後は振り返りです。受講生が期間中に感じたこと、学んだことを一人一人発表しました。閉講式で、泉GNがご挨拶に続いて受講生全員に修了証を手渡しして頂き、受講生にとって秋の上級ライラが自分を見つめなおす転機になったものと思います。

綿密なプログラムの立案と細部に渡る準備、運営でご苦労いただいたチームライラ、地区委員の皆様、そして受講生のご推薦並びにご登録頂きましたロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。報告といたします。ありがとうございました。

